

令和2年度 第2回太宰府市障害者施策推進協議会 議事録（要約）

○日時

令和2年10月21日（水）19：00～20：30

○場所

市役所3階庁議室

○協議事項

議題1 第5次太宰府市障がい者プラン（障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）を含む）の策定について

- ・関係団体調査結果について（報告）
- ・プラン骨子案について（検討）

○内容

■事務局あいさつ

■事務局自己紹介

■傍聴人無しの報告

■配布資料の確認

■議事

「太宰府市障害者施策推進協議会規則」第6条に基づき、議事進行を会長が行う。

議題1 「第5次太宰府市障がい者プラン（障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）を含む）の策定について」

事務局)

資料に基づき説明

質疑

- プラン骨子案について

委員)

7頁、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者は、6年間でかなり増えています。要因等がわかれば教えていただけますか。

事務局)

12 頁にあるように、特別支援学級の人数もかなり増えています。就学前の子どもへのケアが充実してきていることで、いわゆる「グレーゾーン」の子どもを早期に発見できるようになっており、そこから療育手帳の所持に結びついている人が増えているのではないかと考えております。また、大きな視点では、様々な社会不安の増加も1つの要因ではないかと考えております。

委員)

療育手帳所持者数は、18 歳未満で特に増加しており、児童発達支援の充実によるところが大きいと思われる。また、療育手帳所持者が18 歳以上となったとき、全員ではありませんが、精神障害者保健福祉手帳を取得する人も多いため、精神の手帳所持者の増加は、このあたりも要因であると考えられます。

これらの傾向が、13 頁にあるように、就労継続支援 B 型の実績値が計画値を大きく上回っていることにつながっているのではないかと思います。

もう1点、国では、地域包括ケアシステムの構築など、行政への期待も高まっているところですが、太宰府市での推進状況はいかがですか。

事務局)

なかなか難しいところです。障がいのある方の場合、いきなりじゃあ地域で暮らしましょう、とはいかず、十分な理解促進など、下地をつくっていく必要があります。太宰府市では、地域包括ケアシステムの構築については、高齢者福祉では進んでおり、来年から子ども分野も組み込んでいく事になっています。徐々に障がい分野にも対応し、福祉部分全体を底上げしていきたいと考えております。

委員)

国からも、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築については、数値目標も立てて進めるよう方針が出ています。高齢者分野等と一体的に進めていけるように、またプランに盛り込まれるようお願いしたいと思います。

また、アンケート調査でも、「どこに相談していいかわからない」という声がありました。基幹相談支援センターも未設置なので、相談支援体制の充実についてもご検討をお願いしたいと思います。

会長)

地域包括ケアシステムの構築については、基本目標レベルで取り入れるなど、検討が必要かもしれません。ご検討をお願いします。

委員)

障がいの表記について、冒頭部分で固有名詞以外はひらがなを使用するとありますが、まだ整理が充分でないところもあるので、確認をお願いします。

委員)

基本理念、基本目標までが文章でまとめられていますが、前回のプランに比べると、やるべきことなどが、明記されていると思います。これを障がい福祉計画や施策でより具体化していく事ができるとよ

いと思います。地域包括ケアシステムの構築については、国も、「精神障がいにも対応した」といっており、市町村がしっかりと目標値を掲げていく必要があります。また、これは市だけでは絶対できません。民間の事業所や障がい者を雇用する企業等の不安の解消に取り組むなど、地域一体の取組が必要です。

■その他

事務局)

今後の会議開催日程について

委員)

この場を借りて、皆様のご意見をお伺いしてみたいのですが、発達障害支援センターから頂いた、多言語対応のパンフレットがあります。発行は国で、お子さんの主な状態について記載され、このケースはここに相談しよう、と相談先等を紹介する構成の冊子です。発達障がいの場合は、「この症状は……」と決めてしまうと、保護者の不安をいたずらにあおることになりかねません。また、かえって周りの目を気にして、子どもを外に出さない親が増えることも考えられるのではと思いました。

委員)

そのパンフレットはまだ見ていませんが、発達障がいについては、メディアでも取り上げられる機会が増え、たしかに保護者の不安を必要以上にあおっている現状もあるかもしれません。支援者として、子ども本人への支援もちろんですが、その周囲にも働きかけ、暮らしやすい環境をつくっていきたいと思っています。

委員)

社会とのつながりをしっかりと持つことが、状態の改善につながる、ということも、小さく書いてはあるのですが、もっと前面に出していく必要があるのでは、と少し違和感を感じてしまいました。

終了